

V 戦士

徳島県バレーボール協会中学校専門部 春季49号

JOCカップ・オリンピック有望選手・大阪府知事賞をいただいて

富田中学校 西川 吉野

私がバレーボールと出会ったのは、小学二年生の時でした。そして中学に入り、全国大会を目指して毎日練習に励みました。しかし、三年の夏に私たちの全国大会出場という目標は途絶えてしまいました。四国大会までは出場したものの、一回戦で敗退しました。私はその時悔しくて、なぜ負けたのか、どこが悪かったのか、ずっと考えていました。

そんな時私を大きく変えたのが、全国都道府県対抗中学バレーボール大会でした。徳島選抜のキャプテンを任せられ、初めは不安とプレッシャーでいっぱいでした。しかし、四国大会のように後悔する試合にはしたくなかったため、バレーボールに対する意識を変え、練習からストイックに取り組むようにしました。それを教えてくれたのは、中学校の顧問の大野先生でした。私は大野先生を信じて、約四ヶ月間がんばりました。

辛かったこと、苦しかったことはたくさんあったけど、徳島選抜の仲間がいたからがんばれました。JOCカップをいただけたのも、最高の仲間や熱心に指導して下さったスタッフの方々、いつも支えてくれた家族がいたからです。

結果は負けてしまったけど、私に悔いは残っていません。意識を変えればよりよい結果を残すことができます。実際に、私も意識を変えたことで、全日本中学選抜に選ばれ、二月末からはオランダで外国の選手と戦ってきます。高さやパワーでは負けていますが、テクニックや粘りのバレーでチームに貢献できるようにしたいです。

今までお世話になったみなさん、本当にありがとうございました。これからも、さらに高い意識で謙虚にがんばります。



西川吉野

バレーボールのJOCジュニアオリンピックカップ第31回全国都道府県対抗中学大会は28日に閉幕し、女子の最優秀選手(JOC・JVAカップ)に、徳島県選抜玉將

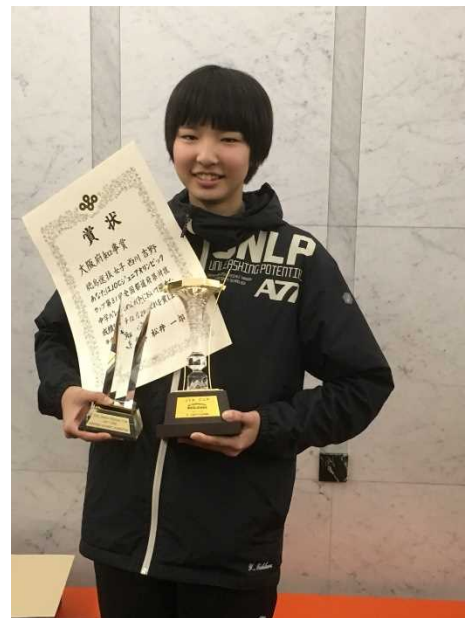
の西川吉野(15)が選ばれる。富田中3年が選ばれた。西川は「本当に驚きしかない。すこうれしい」と喜びをかみしめた。西川は決勝トーナメントに進んだ女子32チーム

の選手を対象に選ぶ「オリンピック有望選手」の3人に入り、この中から最優秀選手として表彰された。全国大会は初出場ながら、178センチの長身から繰り出す強打と高い

守備力が評価された。大会女子には48チームが出場し、県選抜は3チームによる予選を1勝1敗で通過。決勝トーナメント1回戦で敗れる中、異例の選出となった。JOC・JVAカップ受賞者にはロンドン五輪銅メダルの木村沙織や狩野舞子らが並ぶ。西川は「五輪のことはよく分からないが、代表に選ばれたら嬉しい」と話した。(阿部研一)

◆バレーボール 全国都道府県対抗中学大会最終日(28日・大阪市中央体育館)
【男子】決勝 福井 2625 岡山 2422
福井は初優勝。
【女子】決勝 大阪北2 2525 熊本 1813
大阪北は4年ぶり2度目の優勝。

西川(富田中)3年最優秀バレー JOC



2017年12月29日徳島新聞より

※ 西川吉野さんは、全日本中学生選抜による海外遠征(オランダ)にも選出されました。

